

亀山市水道ビジョンに関する実績等報告書(平成29年度)

(上下水道部 上水道課)

■計画の基本情報

計画期間	H 23 ~ H 31 年度
位置付け	本ビジョンは、第1次亀山市総合計画に示された基本施策を実現するため、厚生労働省が策定している「水道ビジョン」や亀山市都市マスタープラン、及び平成20年度に認可を受けた亀山市上水道事業変更認可(第5次拡張)を踏まえ、安全でおいしい水を継続して安定供給するための基本計画である。
目的・概要	安全な水を継続して供給する役割を果たすために、現状を分析・評価して、新しい亀山市水道事業の目指すべき方向と具体的な施策などを定めることを目的に「亀山市水道ビジョン」を策定するものである。
計画の骨格	<p>(基本的な考え方) 基本方針 : 安全でおいしい水の安定供給をいつまでも</p> <p>(目標の設定)</p> <ol style="list-style-type: none"> 安心な水が供給される水道 水源水質の安定や水道水源の確保の取り組みに努める。 (1) 水源地の表流水による原水変動に対して適切な処理の検討 (2) 取水井の閉塞調査、機能回復・予備水源による取水量の確保 (3) 地下水、表流水の保全 (4) 水源水質の監視 安定して供給される水源 現状の水源地や施設(管路、配水池等)を災害に強い施設整備に努める。 (1) 施設の老朽化診断(補修)、配水池に緊急遮断弁の整備 (2) 配水管の更新、改良や耐震化、配水エリアの再編成 (3) 機械電気計装設備の更新 (4) ポンプ施設の更新 (5) 自家発電設備の適正配置 持続可能な水道 健全な経営が持続できる水道を目指し、水需要や施設更新を踏まえた事業運営に努める。 (1) 事務事業の業務委託の推進・事務事業の再点検 (2) 顧客サービスの向上(情報の提供、IT化の推進) (3) 財政収支の見直し(料金及び加入金の適正化) 環境に配慮した水道 地球環境から考えると極めて限られた資源を繰り返し利用してきていることから水資源の有効利用と環境負荷の軽減や水源のかん養に努める。 (1) 水の有効利用のための漏水防止対策の促進(有収率の向上) (2) 高効率機器(省エネルギーの向上) (3) 配水系統の見直し(自然流下方式等) (4) 建設副産物のリサイクルの促進 (5) 保安林の保全

■ 成果指標

	成果指標名	単位	現状値	目標値	実績値 (H29)
1	成果目標値等は設定していない。				
2					
3					
4					
5					

■ 計画の実績等

取組実績	<p>適切な財源の確保、経営基盤の強化を図るため、平成29年12月水道料金を改定し、平成30年4月分の水道料金から新料金を適用するとともに、クレジット収納の導入準備を行い、利用者の利便性の向上に繋げた。</p> <p>施設整備については、送水ポンプ工事、取水ポンプの取替工事、緊急遮断弁設置工事等を行い、管路整備については、配水管改良工事、公共下水道事業に伴う配水管移設工事を行った。</p> <p>また、安全で強靱な水道サービスを持続するため、平成29年3月に本計画を見直し、平成30年度から10年間を計画期間とする新水道ビジョンを策定した。</p>
成果	<p>水道料金を改定したことで、平成30年4月からの財源の確保、経営基盤の強化に繋げることができた。</p> <p>クレジット収納を導入し、利用者の利便性の向上と納期内納付の促進に繋げることができた。</p> <p>施設については、老朽化している設備の更新が図れ、また災害に強い施設整備も実施できた。管路については、老朽管更新にあわせて耐震化も図れた。</p> <p>新水道ビジョンの策定により、人口減少問題や大規模地震対策など新たに発生した諸課題に対応する計画を策定することができた。</p>
総合計画推進への寄与度	<p>1. 快適さを支える生活基盤の向上 (3) 上下水道充実 ①安全でおいしい水の安定供給及び③上下水道事業の健全経営</p> <p>管路の老朽化対策や耐震化を図り、安全でおいしい水の安定供給に寄与した。</p> <p>また、水道料金の見直しを行ったことで、財源の確保が図れ、今後の事業の健全経営に寄与することができる。</p>



反省点・課題	<p>地震等の自然災害等に強く安全でおいしい水を安定供給するため、施設・管路の計画的な老朽更新や耐震化を進めるとともに経営の安定化を図る必要がある。</p>
--------	--



今後の方向性	<p>平成29年3月に策定した新水道ビジョンに基づき、安全でおいしい水の安定供給を目指した事業経営に努める。</p>
--------	--